

事業実施報告

開催日	令和4年7月10日（日）		
事業名	テンパーク・絵本の森（夏編）		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	20家族59名
対象	幼児から小学校低学年を含む親子		
関係機関名			

状況報告 （事業の内容・事業の成果と課題について記載）

〔事業の内容〕

午前日程で、絵本専門士による絵本の読み聞かせ、岩手県環境アドバイザーによる自然観察・図鑑作りを行った。図鑑完成後、参加者が交流する時間を設定した。

絵本の読み聞かせでは、木陰に丸太いすを並べ、絵本専門士が、夏に関する絵本や、後半の図鑑づくりで行う樹皮のこすり出しにつながる内容の『やさいのおなか』『やさいのせなか』を読み聞かせた。子どもたちは、絵本の世界に引き込まれ、「これは何の野菜かな？」という問いかけに、元気一杯に答えていた。

自然観察・図鑑づくりでは、環境アドバイザーの指導のもと、樹木の中の音を2人用聴診器を用いて親子で聞いた。その後、樹皮や葉っぱをこすり出したり、気付いたことを記入したりして自分だけの図鑑を作成した。失敗しても何度でもやり直せるというよさもあり、何ページも作成し、木に苔が生えている、セミの抜け殻があるなど様々な気付きを自分の図鑑にまとめていた。

ワークショップでは、3～4家族が1グループになり作成した図鑑を紹介し合った。温かい声かけで、子どもたちの頑張りや気付きをお互いに認め合う活動ができていた。後半は、講師から草木遊びの紹介があった。

今回、102家族の応募があり、倍率は5倍を上回った。決定通知後3組のキャンセルがあったが、キャンセル待ちの家族から3組繰り上げ当選とし、予定通り20家族（59名）の参加となった。

〔成果〕

・両講師との事前打ち合わせを2回行うことで、必要な物品、曲り家周辺の設備や木々、草花の状況を把握できた。夏や自然に関する絵本、自然観察・図鑑作りの内容につながる絵本を選書してもらえたことは、絵本専門士に協力いただいた大きな成果である。

・活動の後半の参加者の交流の場面では、保護者同士で話し合いを進め、子どもたちが自分の頑張りを紹介し、お互いに褒め合う雰囲気ができていた。子どもの自己肯定感の高まりにつながったと思われる。

・閉会行事では、参加した児童、保護者からの感想発表の時間を設定した。積極的な発言がなされ、「図鑑づくりが楽しかった。」「読み聞かせを自然の中で聞く体験が貴重だった。」「自然に関する絵本だったので、木々に囲まれたこの場所で、絵本の世界により浸ることができた。」などの感想が出された。

・事業後のアンケートでは、「子どもと一緒に自然を体験できてよかった。」「絵本の内容とワークショップの内容がつながっていて、子どもも興味をもちやすかった。」など肯定的な意見をいただいた。また、満足度に関する4項目全てにおいて、「満足」「やや満足」を合わせて100%であった。今回の事業では、本に親しみ、自然の楽しさ、面白さを親子で味わうことができたと思われる。

〔課題〕

・今回は、天候に恵まれたため屋外での活動を行えたが、雨天時、曲り家で同様の活動を行うとかなり手狭になり、時間的な余裕もなくなってしまうと考えられる。テンパーク・絵本の森（秋編）に向け、雨天時を見越しての対応を綿密に計画する必要がある。

・樹皮のこすり出しにスタンプを用いたが、インクが過剰でしまいうまく凸凹が写し取れなかった。事前にうまく写し取るコツをスタッフで共有する必要がある。

・受付の場所が分かりにくかったため、駐車場から見える位置に誘導スタッフを配置する必要がある。

状況写真



「絵本専門士による読み聞かせ」



「絵本の世界に引き込まれる子どもたち」「環境アドバイザーによる自然観察の導入」



「木の中を流れる水の音を聞く親子」



「樹皮をこすり出して図鑑作り」



「完成した図鑑を紹介して交流」